大空町議会【議会報告会・町民との意見交流会】 主な質問・意見等集約表

会場	開催日	開催時間	参加者	※今後の対応	_
大空町議事堂文化ホール	平成27年2月22日(日)	13:30 ~ 15:20	町 民 議 員 10人 11人	A 議員協議会協議事 B 所管委員会協議事 C 町長部局伝達事項 D 町長部局に確認し E その他	項
		告会の部」での質問・意見	等(各常任委員会		
主な質問・意見等			議会	会側の回答	※今後の対応
 ① 住民の声を行政に反映させると、そういうことでお願いして当選した方ばかりと思うが、今報告された中で、例えば、住民からの要望で、調査事項を検討して実行しているものはあるのか。 ● 総務厚生常任委員会では、今回2つのテーマに絞らせていただいた。人口減少に歯止めをかける、それを打破するためにどうすべきか、その一つのテーマとして定住促進、それと課題となる福祉施策はどうあるべきか、現状を踏まえ取り組んでいこうということである。 ● 産業建設文教常任委員会では、町の施設はほとんど30年近く経っていて老朽化している。その中で、何を優先して施設整備が必要なのか、予算も鑑みながら調査を行った結果である。 					ーマとして定 取り組んでい ていて老朽化
いという声を聞く場合か にこだわっていては一歩	ざく補助されている。住んであまりでででは実際にある。住宅の補助ばたまも前に進まない。そういうだったいという気持ちに持っていまったと思うが。	いり けでなく、働く環境 条件 ちづくりの委員会が いく が自慢できるくらい 合わせてこれから いないとご理解いた れるのは、30代を	竟、住む環境、子と がつくられていた。 い安いし、中学生ま 取り組んでいかなけ こだきたい。付け加 4 O代の子どもを育	対組みを触れさせていただいた。それをトータが さもを育てる環境、それをトータが 当町も当然やるべきだと思う。 まで医療費を無料にしました。そればならない。特に住宅助成だけ いえるが、働く環境を考えた時、 質でているお母さん方が働ける環境	ルに考えてま うちは保育料 ういうことも けとは考えて これから問わ

いたと思うが、その期間が60日あるいは40日という ことで喜んでいるが、できれば「町政を問う」の議員を 重点として出してほしい。各常任委員会で何をしたかを

③ 議会だよりについて、今まで3か月の範疇で出されて

● 興味がある方、熟読したい方は、一般質問が多いほど喜びます。昔は約8割が一 般質問でした。それが10年ほど前から変わってきた。議会側の事情もあり以前は 事務局が作っていたが、議員自らが編集に携わる時代となっている。今は一般質問 と一般事案だけでは聴衆は読まない。町民の声や要望意見書の採択を書いたり、い

控えめにしてもいいので。	ろいろなプログラムを用意して、町民全体が見れるようなものという形で編集を進		
	めている。		
④ 委員会の視察について、町で何が悩みかと、それを解	● タブレットの研修は議会運営委員会で行かせていただいた。常任委員会とちょっ	Ε	その他
決するために似たような町に行って、例えば人口がどん	と違って、議会を運営する上でいろいろな形の中で視察するのが役割です。戸田市		
どん減っているがあそかは止められたとか、そういう意	は人口規模は違うが、全国で20近くの町が導入しているタブレット持ち込み可の		
味で、埼玉県吉見町はよかったと思う。ただ、戸田市は	先進的な取組みを行っている。将来的にもそういうことを考えていかなければなら		
人口13万人、毎年人口はふえていて、平均年齢は若い。	ないと、視察をさせていただいた。		
こういう所に視察に行くのはうちとどういう関係がある			
のか。私は研修がだめだとは言っていないが、視察先を			
選ぶ場合、タブレットの視察とあるが、それが今町の心			
配事ではないと思うが。			
(5) あの時議会で通したもの、3年後、5年後、再度検証すべきだと思う。例えば、寄宿舎を作る時、町民の間でももめた。今年の入学希望者は17名でしたか。でも全部が寮にはいるわけではない。その時新しいものを作るのではなく、この先どうなるか、人口減少を考えた時、我慢するということも、先を読んで検証するということは必要だと思う。運動公園の整備、日常あの公園を利用している人は何名いるのか。危ない遊具を取り換えるのならいいが、あそこまで土を切ってお金をかけたが、利用する人がいないのでは。そういう視点に立って考えていただきたい。	用されているのかはっきり言えないが、用具についても危険な状態にあるものを含め、全体的な改修となっている。 ● 公共施設の老朽化ということもあるが、橋梁、道路、公営住宅、公園を長寿命化していくという言葉が流行っているが、壊して建てるのではなく、直してリフレッシュしていく、そうして予算を圧縮していくという国の考え方で進められている事業である。遊具についてはアンケートを取り、圧倒的に古くて危険で放置しているのはおかしいと、そういう意見が多数寄せられた。そんな中で国の補助金が出ることになり、皆さんが喜ばれるようなものをつくるということになった。	E	その他

⑥ 独身の方が住む場所、アパート、独身住宅等の限られた場所しかなく、町外の方は町近辺に住み、大空町へ通うなどしている。結婚してから住む場所や家を建てる部分では考えていただいているが、その前の段階、若者世代がもう少し住みやすい環境ができれば、女満別にもう少し若者がふえたり、町に長くいる時間、家といえども大空町にいる時間、帰ってきて落ち着ける環境というのは、衣食住の中でも「住」は重要だと思うので、それでやはり女満別が好きという環境全てに幅広くつながるような住みやすい場所というものがあればいいと思う。

こういう場に私たち世代のような年代の方が多く出ることを今後も期待したいし、こういう場に出て参加することはやはり意味があると思うし、青年活動やよさこいなど、いろいろ頑張っている若者もいるので、そういう世代がもっと輝け、なおかつここに永住という形で、子育てだったり、長く住んでもらい人口増加につながるような形だったり、先々を見据えた若者が住みやすい環境が一層ふえていけばと思い発言した。

- 久しぶりに若い方の意見を聞かせていただいた。発言していただき議会としても ありがたいと思う。今言われた若い方が住みやすい環境づくり、なかなか難しい面 もあるとは思う
- 町の町営住宅は3種類あり、入居率、一般住宅は99%、特公賃は72%、単身 者住宅は両地区合わせて96%である。そして若い方が住宅を建てることは大変で あり、その前の一つの方法として、町では住みかえの事業に取り組んでいて、一戸 建てを買うと助成があります。あと住み替え家賃を12か月分助成する事業もある。
- ずっと女満別に住んでおり、外からの感覚がなく、逆にここはこうした方がいいとか、こういう風にできるのではないかとか、何か提言をいただければ、また違った観点からお示しできるし、議会としてもこれから若い方たちの意見を聞く機会をつくるべきだと、お話を聞いていて思った。今すぐとはならないかもしれないが、年度が替われば機会をつくらせていただいて、逆にこちらから出向いて若い方たちの意見を聞くこともしたいと感じたところである。
- 昨年異業種交流やり、3回目であるが、100人以上集まったと報告を聞いている。また3月に予定されているが、同じ町内にいながらなかなか若者同士が触れ合う機会が少ないことも欠点なのかなと思う。その中で実際に議員の中でも出席しているものがいるので何かあれば一言。
- 私も町外に出たことがありまして、なかなか町内にそのような単身で入るような住宅はなかったですし、一般の住宅は家賃が高いし、単身者用もちょっと高いということがある。これから住み替えもあるが、空き家もふえているので、若い方がそういう所をリフォームして住めるようなものができればいいと思うし、若い方の意見を反映させていければと思う。異業種交流は45歳以下という条件で、他の議員の方は参加できなかったが、私だけ参加させていただいた。出会いの場としても、農家の方や若い方が出て意見を聞ける機会であったので、今後予算もついて、先ほど話にあったように、子育てしやすい環境、中学生まで医療費を無償化にしているので、あの場では大空町のアピールが足りなかったので、担当課にはもう少し大空町の良さ、住みやすいことを周知してもらいたいと思う。また何かあればできるだけ反映できるように頑張りたい。

D 町長部局 に確認し対 応する事項

主な質問・意見等	議会側の回答	
①-1 東藻琴の地域振興会館、話が進んでいるように聞いているが、議員さんたちの意見を聞かせていただきたい。	 平成22年に初めの案が出てきたわけで、この中でまちづくり住民懇談会という組織ができ、計画進めていったわけである。その中で道の駅というよりは地域活性化で進んだ方がいいのではないか、その中で計画を受けて、平成25年度、平成26年度については、いろいろな形で住民説明会を開きました。その中で昨年の12月には基本設計ということで予算をつけ、住民の中からつくるのなら早くしてくれという意見が多かったもので、そういう形で進めてきている。その中で、基本設計を見る形で、今議会としてはやり取りをしている段階である。 東藻琴の率直な話として、予定地に佐々木旅館があるが、もう老齢化で廃業したい意向である。それで東藻琴の街の中で旅館と食堂、そういうものがなくなる。食堂は小さいのがあるが、何人か集まって食べたりお酒を飲んだりという場所がないということで、東藻琴でもってもらいたいという意見があった中で、最初は道の駅構想で始まったが、地域を活性化できる施設がほしいということで始まったと思う。私もその施設に賛成で、いろいろな意見を聞いているが、何としても東藻琴に宿泊場所と皆が集まって食べれる場所、会議ができる場所、ということで計画が進んでいると思う。東藻琴の基幹産業である農業を守っていける中核的な施設になるのではないかと考えている。あそこは網走川湯線、国道334号が通っている中でのちょうど中間的なものもあり、観光だけでなく、住民が集まって、お酒もたまにやる食事もやる、特に住民説明会をやって宿泊施設がなくなったら非常に因るという意見が多かった。したがって宿泊施設と地域活性化施設・交流施設が必要という意見が多かった。したがって宿泊施設と地域活性化施設・交流施設が必要という声、大半の意見がそうだと聞いている。あまり贅沢なものを云々ではなく、必要最小限のものを、住民の理解を得ながら、建設に向けて頑張っていかなければならないと、地元議員としての意見である。 	A 議員協議 会協議事項

- ①−2 必要最小限というが、予算額を聞くと大がかりな のかなと、費用対効果、田舎でペイにはならないが、そ ういう話はないか。みんながやってくださいという要望 だけで頑張っているのかなと。
- 経過についてはその通り。住民説明会の中で反対意見が出たのは事実である。そ の予算を含め、規模の問題、そのことを含めて検討をされた。ただ、やはり採算が 合わなかったらどうするのか、投資金額、売上金額の心配の意見も出ていた。今後 に向けてそういったものを精査しながら現在進行形で進んでいる。まだ具体的には っきりした金額が議会に提示はされておらず、あくまでつかみということでしか提 示されていない。
- ①-3 将来的に黒字経営にはならないと思うが、町はど の位の補助をし続けていくのか計算はできているのか。
- まだ基本設計の段階で、具体的に金額等は提示されていない。今の段階で町がど の程度の金額をだすとか、現段階では明確にできない状況である。基本設計の部分 は年度末ですから3月末には出てくる。その後、議会として提出されたものに対し て議論をさせていただいて、その段階で建設費が出てくると思う。
- するようなものがあったと思うが、できれば経過的なも のがあれば教えていただきたい。
- ②-1 昨年豊住小学校関係で、幼稚園という、町を2分 豊住小学校が閉校するに伴い、施設をどう活用するか、町民の方々にアンケート E その他 を取り、一番多かったのは幼稚園を中心とした施設で利用できないかという声が数 として多く上がってきた。町サイドでいろいろ検討した中で、活用はできるが、活 用にあたっては足の問題、町の援助金など、いろいろな状況が加わってくると検討 されていた。議会サイドで話したのは、環境がそうであるにしても、本当に親の方 たちが、あの場所に幼稚園を持っていくことを希望しているのか、きちんと把握す る必要があるのではないかと、話をさせていただいた経緯がある。そうした声を聞 いてみると、あそこの場所を望まない声が多くあったと把握させていただいた。教 育委員会もそれを尊重した形で、幼稚園を持っていかない最終的な判断になったと ころである。今、町の第2の研修会館という立場で使っていただくことと、地域の 方のスポーツクラブであったり、あの施設を活用しているところである。
- ②-2 この前初めてあの施設に入ったが、あれほど立派 な施設、先ほど言った検証というのは、当時の議員が先 を読んであれを建てた時の議員はいるのか。当時スクー ルバスがあり、農家の人口が減って子どもが減っていく ことがわかっていながらあれほど立派なものを建てた自
- 豊住の学校、今見てもすばらしいです。これは豊里、住吉の方が本当に動いてく れた。アンケートも取ったし、地域が一丸となって進んできた問題である。ただい えることは、こんなに全国的に少子化になるとは夢にも思っていなかった。先ほど 高校の問題も出たが、分からないところで効果があると思ってやっているし、豊住 は地域一丸となってやったものだから、私たちも賛成してあのような立派な学校に

体、議会が賛成したから建ったのでしょう、そういうことを議員は検証してほしい。もったいないと思った。	させてもらった。今学校がなくなってもスポーツ少年団、お祭りだとか、本当に盛 んな地域なのです。そういうことなので私たち議会としても賛成に回ったというこ とで理解していただきたい。高校だが、甲子園に行けたのも皆が燃えてくれて、寮 もあったから行けたのではと思う。ただ寮がなくなったからどうなるという問題で はない。永遠に学校問題は考えなければならないと思う。行政側、教育委員会も考 え、それに対し議会はどうあるべきかということで進んでいくと思う。	
③-1 いろいろと議会活動を聞いて、情報の取り方に疑問を感じる。野球場を硬式野球ができる球場にする必要性、利用状況はどうなのか。そういうことを把握して改修工事を進めているのか。たとえば、足湯をつくりましたね。あの足湯の利用者が年間何人いるかと議員が質問して、年間3500人いるとの答弁がなされた。あとトレーニングマシンは年間1500人使っているという。そういう数字はずさんな数字を使われて物事が処理されるととんでもないことにあると思う。その辺、議員は的確な情報を集めてほしい。情報を精査して、物事を進めていかないと、なんでもかんでも作ればいいことになる。	● 野球場の施設だが、何にも情報がなく賛成したわけではない。利用状況、現地に行きましたし、そういうものを情報提供いただき、その結果どうすべきかとしてやっている。	E その他
③-2 利用状況はどうだったのか。	● 利用状況については、正確にはつかんでいないが、なぜつくるのかということについて、情報がないわけではなく、昭和55年に建て、スライドでも見てもらったが、半地下になっていて、水も入って、とんでもない施設になっている。その中で、いろいろ改修し、広く子どもたちも使える施設に改修したい、その中で、これからは野球場ではなく運動公園として、マラソンでも使えたりできるよう、改修工事がされている。	
③-3 子どもたちが使え、子どもがたくさん住む町にしないと。	● 利用状況が手元にないので確認したいと思う。利用状況、それから利用されている団体等の名称の明細をいただいているので、公表できる機会があれば公表したいと思う。	

- (4)−1 道の駅について、委員会の行政視察で4箇所ほど 回られて報告されているが、女満別の道の駅「ほのか」 だが、夏になると野菜を置く場所が全然ない。そういう 施設を何とかしてもらいたい。
- ④−2 公社の事務局長とも何回か話しているが、要する に儲けが出なければ施設はつくりませんという返答が返 ってくるが、私も熊本や和歌山、三重とかの道の駅の施 設を見てきたが、どこでも旬のものが出ていて、スペー スを広くとっている。ここの道の駅だと、どこかのコン ビニのような雰囲気の中に物が置かれている施設だと思 う。なぜあれだけの利用がある中で、それだけのことを 考えないで施設をつくったかと思う。
- 入口のところしかなく、物販、野菜の施設としては手狭で品数も置けないという | ことだと思う。ただ、産業開発公社が指定管理で受けてやっているので、議会から というのは難しい面もあるが、そこは今後の課題として、テントを張るだとか、そ ういう形で少しスペースを拡げることは可能なのかなと思う。その辺、町を通じて
- 産業開発公社に見直してもらいたいと思う。
- あの施設は平成13年に農村景観整備事業としてつくった施設で、あの時は野菜 市は全国的にまだ活発でなかった時期である。私も関わったが、今現状の建物を利 用して物販のスペースは無理と思うので、公社の方とも町を通じていろいろな形で、 もう少しスペースを拡げれないが、検討させていただきたい。
- 産業建設文教常任委員会でも視察に行ったら、必ず道の駅は見るようにしている。 その中で、どの道の駅でも物販施設、必ず設置されている。議会でもその方向で考 えていきたい。

B 所管委員 会協議事項